

在ネパール日本人会商工部会 スタディセミナー

「新政府の予算案を読み解く」

2018年6月29日（金） 於：割烹しみず 講師：「カロバール」紙 クベル・チャリセ氏

1. 2018年5月29日：カティワダ財務大臣が、会計年度2018-2019年の予算案を発表

→1兆3150億Rs.

→内訳は以下の通り

- ・周期性支出：8455億Rs.
- ・資本支出：3142.8億Rs.
- ・融資：1551.8億Rs.

2. セクター毎の割り当て

- | | | | |
|--------|--------------|----------|------------|
| ・保健 | : 564.1億Rs. | ・教育、科学技術 | : 1340億Rs. |
| ・農業 | : 337.1億Rs. | ・旅行 | : 52億Rs. |
| ・エネルギー | : 838.9億Rs. | ・交通インフラ | : 1090億Rs. |
| ・復興 | : 1510.8億Rs. | | |

3. 財源

- | | | | |
|---------|--------------|--------------|--------------|
| ・歳入（税等） | : 8313.1億Rs. | ・外国からの無償資金協力 | : 2530.2億Rs. |
| ・融資 | : 588.1億Rs. | ・国債 | : 1720億Rs. |

4. 目標

- ・8%の経済成長（2022年までに後発開発途上国脱却、2030年までに中所得国に）
- ・次会計年度に、50万の新規雇用を創出
- ・「首相雇用プログラム（Prime Minister Employment Programme）」と「5%の譲与的条件貸付」を通して、若者の起業を促進。
- ・外国出稼ぎから戻ったネパール人に、最大100万Rs.のローンを利用できる制度を設ける。
- ・現存する「Youth Self Employment Fund」の利用。

5. 所得税制度の変更

- ・200万Rs.の課税所得がある場合、20%追加で課税。